Electric Bicycle

USER MANUAL

次世代ハイブリッド

Smart eBike取扱説明書

RICH BIT®

TOP-619 **TOP-016**

合本版

https://richbitebike.com

SHENZHEN XINHUANAN BICYCLE INDUSTRY CO.,LTD

目 次

目次 ---- 01
はじめに ---- 02
警告表示について ---- 03
安全上のご注意 ---- 04-08

Model:TOP-619

各部のなまえ ---- 09-10
組み立てのしかた ---- 11-16
ハンドル部の取り付け ---- 11
サドルの取り付け ---- 12
ペダルの取り付け ---- 13
充電のしかた（1）---- 14
充電のしかた（2）---- 15
バックミラーの取り付け ---- 16
液晶マルチファンクション ディスプレイ取扱説明 ---- 17-22
バイクの乗り方 ---- 23-26
電源の入れ方 ---- 23
ヘッドライトの付け方 ---- 24
ウインカー・ブレーキランプの付け方 ---- 25
ハイブリッド・電動バイク・自転車モードの走行 ---- 26
TOP619日常点検チェックシート ---- 27-28
製品仕様 ---- 29

Model:TOP-016

各部のなまえ ---- 30-31
組み立てのしかた ---- 32-40
前車輪の取付 ---- 32
ハンドル部の取り付け ---- 33
液晶ディスプレイの取付 ---- 34
ヘッドライト・フェンダーの取付 ---- 35
サドルの取り付け ---- 36
ペダルの取り付け ---- 37
充電のしかた（1）---- 38
充電のしかた（2）---- 39
バックミラーの取り付け ---- 40
液晶マルチファンクション ディスプレイ取扱説明 ---- 41-45
バイクの乗り方 ---- 46-51
電源の入れ方 ---- 46
各種パラメーター詳細設定のご説明 ---- 47
ヘッドライトの付け方 ---- 48
ウインカー・ブレーキランプの付け方 ---- 49
フロントフォーク右側ABS印字側スイッチ(フロントサスペンション)使い方 ---- 50
ハイブリッド・電動バイク・自転車モードの走行 ---- 51
TOP016日常点検チェックシート ---- 52-53
製品仕様 ---- 54

保管と手入れ ---- 55
点検・整備項目 ---- 56
故障かなと思ったら ---- 57-58
製品保証 ---- 59-60
保証書 ---- 61

はじめに

★ Smart eBike最大の特徴
①ハイブリッド走行モード
　“自分の足”と“パワーユニット”の両方を使います。“自分の足”と“パワーユニット”が互いに協力して移動することができます。
②電動バイクモード
　スロットルを回すだけで、バイクと同じような走行が可能です。
③自転車走行モード
　モーターをまわさず、ペダルだけの走行が可能です。

★法律遵守と保安基準
道路交通法と保安基準に適合する保安部品は標準装備されます。
・前照灯　・番号灯 / 尾灯　・警音器　・後写鏡　・制動灯
・方向指示器（前後ウインカー）　・速度計

★公道走行
法律上は原動機付自転車となります、公道走行の際、以下の点をお守りください。
１、ナンバー登録が必須です
２、自賠責保険への加入が必須です
３、ヘルメットの着用が必須です
４、第一種原動機付自転車を運転することができる免許の携帯が必須です
５、車道を走る必要があります
※ Smart eBikeは見た目は自転車に近いですが、公道において 、法律上は常に「原動機付自転車」として扱われます。
　したがって、自転車（ペダル）モードであっても、歩道の走行は禁止されておりますので、車道をご通行ください。

　この取扱説明書では、RICH BIT 用電動アシストユニットの取扱い方法を説明しています。
　取扱説明書をよく読み、内容を理解したうえで正しくご使用ください。
　取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

- 製品の仕様変更などにより、本書に記載のイラストや内容が実際の製品と多少異なる場合があります。
- このの取扱説明書の記載内容については、予告なしに変更することがあります。
- 本製品を贈呈や貸与する場合は、本書及び購入時に添付されていた書類一式を必ず製品に添付してください。

警告表示について

●安全にご使用いただくために

ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害と電動バイクの損害を未然に防止するために本書に記載されている内容をよく理解していただき、警告・注意・禁止事項を必ずお守りください。

*不注意や誤った操作などは事故につながる恐れがあります。本書・別紙、本体ラベルに記載されている内容をよく理解していただき、各記載事項をお守りください。

●表示マークについて

ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で、 区分し、説明しています。
⚠ **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意** この表示の欄は、 「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 強制

●異常を発見したら販売店にご相談ください。

●変形、ひび割れなど異常のある部品は必ず交換してください。

●曲がりを直しての再使用は破損の原因になりますので絶対にしないでください。

安全上のご注意

バッテリー/充電アダプタのコード・プラグについて

⚠ 警告

電源プラグや充電プラグを濡れた手で抜き差ししない

感電するおそれがあります。

電源プラグや充電プラグは根元まで完全に差し込む

感電や火災のおそれがあります。

火の中に入れたり、加熱したりしない

火災や破裂によりケガをするおそれがあります。

窓を閉めきった車中や直射日光のあたるところ、高温になるところにバッテリーを放置しない

火災や破裂によりケガをするおそれがあります。

屋外の雨に濡れるところや浴室・洗面台など水のかかる場所で充電したり、保管・放置しない

感電や火災のおそれがあります。

発電アダプタ・コード・プラグが傷んだものは使用しない

感電や火災のおそれがあります。

幼児の手の届くところに置かない

感電やケガのおそれがあります。

分解や改造はしない

感電や火災のおそれがあります。

端子間に金属などを接触させない。また、針金などの金属の上に置いたり、一緒に保管・放置しない

感電や火災のおそれがあります。

バッテリーを長期間、放置しない

長期間の保管はバッテリーの劣化の原因となります。目安として3ヶ月に1回は充電してください。

安全上のご注意

バッテリー/充電アダプタのコード・プラグについて(つづき)

⚠ 警告

バッテリー・充電アダプタ・コードは専用のため、他の機種やその他の用途には使用しないこと
火災や破裂によりケガをするおそれがあります。

バッテリーを充電する場合は、専用の充電アダプタを使用し、指定の充電条件を守ること
他の充電機器を使用すると、火災やバッテリーの破裂により怪我をするおそれがあります。

電源はAC100～240V(50/60Hz)を使用すること。また、コンセントやコードは定格内で使用すること
定格外のものを使用すると火災のおそれがあります。

充電中:充電中：バッテリーやアダプタの放熱を妨げないこと。上に物をしないこと
火災のおそれがあります

塵やほこりの多い場所で充電したり、保管しないこと
火災のおそれがあります。

充電中はパッテリーやアダプタに皮膚が長時間触れないこと
低温やけどのおそれがあります。

バッテリーやアダプタは平らなところに置くこと
バッテリーやアダプタが落下し、ケガをするおそれがあります。

充電が完了したら、プラグをバッテリーから外すこと
差し込んだまま放置すると火災のおそれがあります。

コードの抜き差しはプラグを持って行うこと
コードが傷つき、感電や火災のおそれがあります。

コードを持ってバッテリーやアダプタを持ち上げたり、ひっぱったりしないこと
コードが傷つき、感電や火災のおそれがあります。

コードやプラグをショートさせないこと
火災のおそれがあります。

安全上のご注意

バッテリー/発電アダプタのコード・プラグについて(つづき)

⚠ 警告

バッテリーやアダプタを落下させたり、衝撃を与えたりしないこと
バッテリーやアダプタが破損し、火災のおそれがあります。

コードを破損させないこと
感電や火災のおそれがあります。

プラグにゴミや土、油が着かないようにすること
感電や火災のおそれがあります。

お手入れの際、ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉などは使用しないこと
部品傷つき、火災のおそれがあります。

長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと
感電や火災のおそれがあります。

一般のゴミと一緒に捨てないこと
火災や破裂によりケガをするおそれがあります。破棄する際は自治体にご確認頂き、従ってください。

万一、バッテリーから液が漏れた場合は、以下の注意事項を守ること
・皮膚や衣服につけないように注意する　・目に入った場合直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける
・皮膚についた場合は直ちにきれいな水洗い流し、医師の治療を受ける

バッテリーやアダプタが以下のときには、速やかに使用中止し、購入の販売店に連絡すること
・水没させたとき　・内部に水や異物が入ったとき　・落下させたとき　・強い衝撃を受けたとき
・ケースが破損したとき　・異音が発生したとき　・発煙があったとき　・異臭がしたとき

バッテリー接続部に磁気を帯びたものを近づけないこと
バッテリーの故障の原因となります。

安全上のご注意

Smart e-Bike

⚠ 警告

「蹴り乗り」はしない、必ずサドルにまたがってから発進する
ペダルに力が加わると、電動補助力が働き、転倒や接触事故のおそれがあります。

操作スイッチを「ON」にしたまま、駐車、停止、バイクの押し歩きをしない
足や荷物がペダルに触れると電動補助力が働き、転倒やケガのおそれがあります。

走行中に操作スイツチを注意を払って操作する。あるいは停止してから行う
転倒や事故のおそれがあります。

バイク車体やアシストユニットを分解、改造しないこと
感電やケガをするおそれがあります。

安全上のご注意

Smart e-Bike

⚠ 注意

バッテリーに負荷を加えない

特にバッテリーに手をかけたり、衝撃を与えるとバッテリーがはずれたり破損したりして
転倒や事故のおそれがあります。

走行中に異音が発生したり、異常だと思ったら使用を中止して販売店で点検・整備すること

そのまま使用を続けると事故の原因となるおそれがあります。

必ず平らな場所に駐輪すること

平らな場所に駐輪しないと、電動バイクが倒れてケガをするおそれがあります。

バッテリーに手をかけて電動バイクを持ち上げないこと

バッテリーが外れてケガをしたり、破損するおそれがあります。

走行直後はアシストユニットにふれないこと

アシストユニットが高温になっていることがあり、やけどのおそれがあります。

各部のなまえ

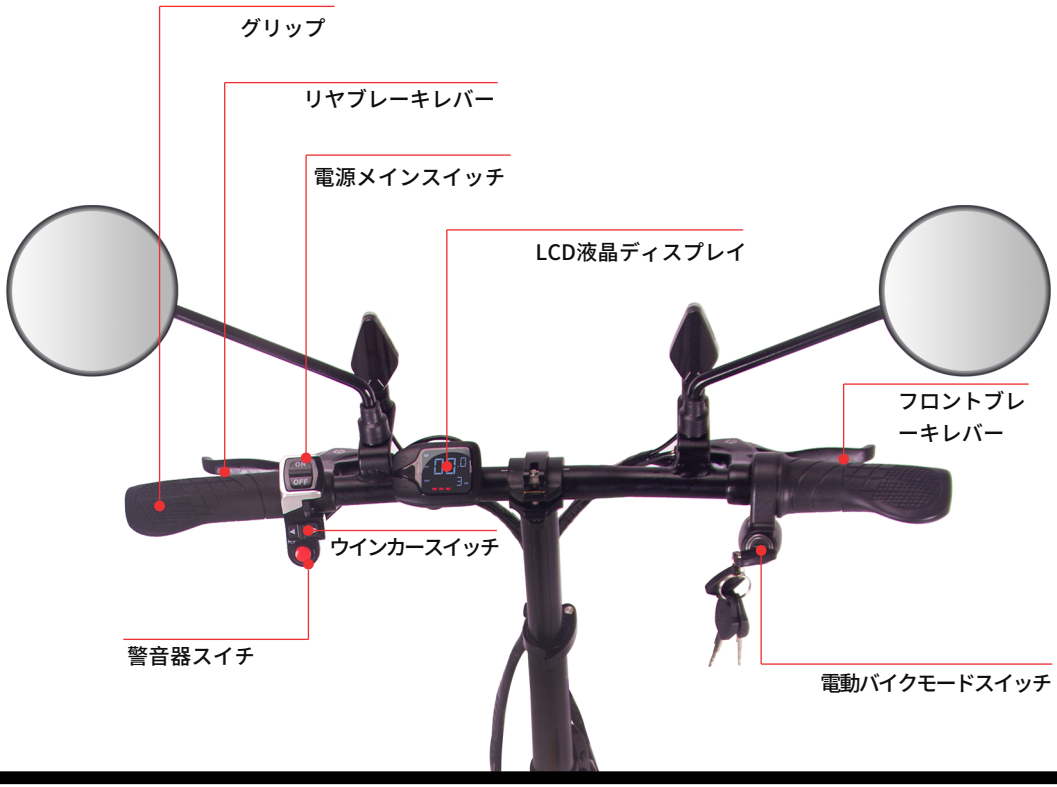




車体番号刻印場所

標識番号（ナンバー）取得には車体番号が必要のため、お手続きなさる前に、販売証明書に車体番号のご記入を宜しくお願い致します。

各部のなまえ



付属品

●ネジ固定用簡易工具　●電動バイクモードスイッチキー（2本）

●バッテリーロック専用キー（2本）　●充電器　●取扱説明書　●バックミラー　●バックミラー取り付け工具

※スペアキーはございませんので、大事に保管してください。



組み立てのしかた

ハンドル部の取り付け



ポストを直します。





クイックレバーでポストを固定します。



ハンドル固定ユニットを外します。



ハンドル固定ユニットでハンドルを固定します。
固定後、クリックレバーでしっかり固定します。



左右ウィンカーを固定します。

サドルの取り付け



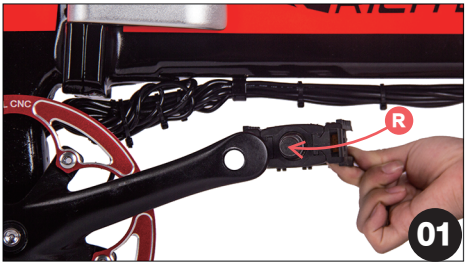


クイックレバーを緩め、ポストの高さを調整します。調整後、クイックレバーでしっかり固定します。

ペダルの取り付け

ペダルのねじ部先端にR/ L 印字があります。 R： 右側用、L:左側用

右側用ペダル固定

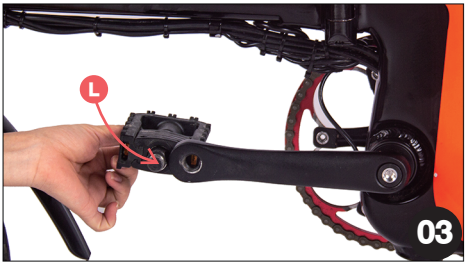




- 手で回転軸を時計回りで回しながら少し差込孔に入れます。
- 工具を使ってしっかり固定します。

※無理やり最初から工具で取り付けると、ねじ孔のねじ模様を壊す場合がありますので、手で少し固定できてから工具を使ってください。

左側用ペダル固定

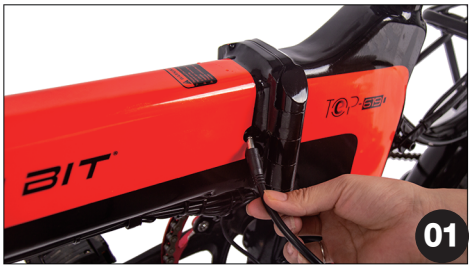




- 右側と同様の操作となりますが、回り方向は時計反対回りとなります。

充電のしかた(1)

本体に電源を差し込むだけで充電します。差し込む場所は折りたたみクイックレバ ー の反対側にあります。







充電器のランプは、充電中に赤く表示され、充電完了時は緑になります。

充電のしかた(2)

バッテリーを本体から取り外し、好きな場所で充電します。



バッテリーロックの差込口を確認します。



クイックレバーロックを外してから、レバーを開きます。



車体をたたんでから、バッテリーロック専用キーでバッテリーロックを開錠します。

※車体充電口の下側フレームにキー差込口があります。
配線が通るから、必ず充電口側からキーを差し込んでください。



バッテリーロック専用キーを外してから、バッテリーを取り外します。



好きな場所で充電します。

※バッテリーを取り外す時、バッテリー本体を反対側端子に接触させないこと、ショットする可能性があります。

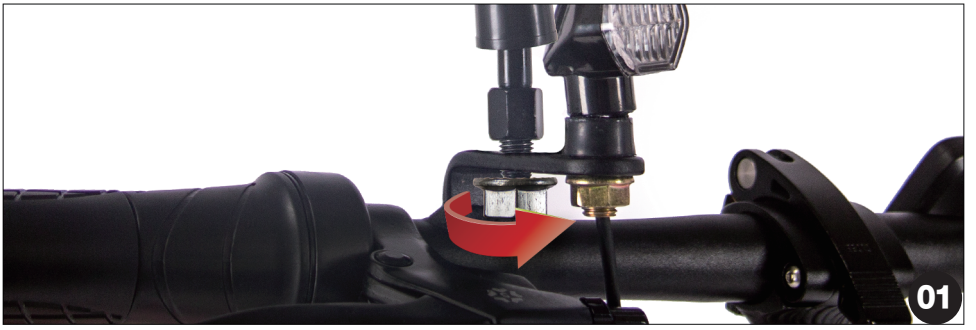
※充電完了後、上記と反対手順でバッテリーを取り付けます。

⚠ 注意 充電が完了したら、充電アダプタ/電源コードを外してください。

バックミラーの取り付け



バックミラーをつけます



専用工具でネジを矢印の方向に回し、バックミラーをしっかり固定させます

液晶マルチファンクションディスプレイ

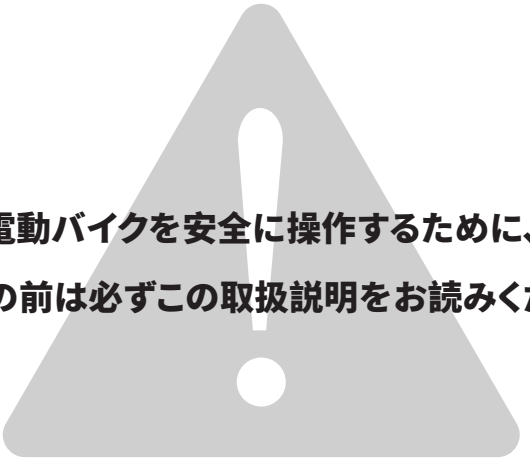
取扱説明



TOP-619メーターディスプレイは、独特なデザインを採用し、簡潔で美しい

明るいLEDスクリーンは日光の下でも明晰に見える

夜間モードは、優しい表示になり、安全性が高い



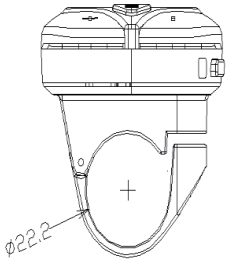
電動バイクを安全に操作するために、

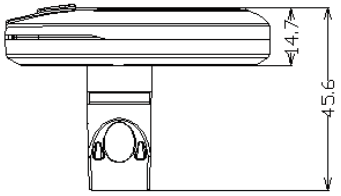
ご使用の前は必ずこの取扱説明をお読みください。

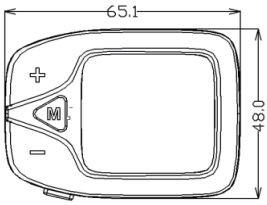
外観と寸法


AVG
SPD
ODO
TRIP
MPH
KM/H
MILE
KM




φ22.2


14.7
45.6


65.1
48.0
M

※寸法(mm)


ギア1～5
平均スピード
スピード
6kmアシスト
オド
トリップ
AVG
SPD
ODO
TRIP
MPH
KM/H
MILE
KM
スピード値
バッテリー残量レベル

ボタンのご説明

ディスプレイに（M）電源ボタン及びモード選択ボタン、（+）ボタン、（—）ボタンの３つのボタンがあります

操作方法のご説明

電源ボタン

①電源オン：電源オフの状態で、電源ボタン（M）を長押しすると、ディスプレイは起動します。また、車体コントローラの電源へ提供し、3秒後、車体コントローラと正常通信を行います。

②電源オフ：起動した状態で、電源ボタン（M）を長押しすることで、電動バイクの電源が切ります。

アシストモードの選択

アシストモードボタン(+)、または (—)を一回押すと、電動バイクのアシストレベルを調節することができます。
ランク1：最小パワー、ランク５：最大パワー

※ (-) をランク１からさらに押すと、数字表示は消えます。その時、
パワーはゼロになりまして、バイクは自転車モードにもなります。

ディスプレイを起動させると、自動的にランク1になります。
ランクの表示位置は次の図に確認できます。

ランクの表示位置



⚠ 注意

電動バイク発進の際、最小パワーランク１で発進してください。※ランク２以上から発進の場合、急にスピードを出して危ないから、ランク１からお勧めします。
その後道路状況により徐々にスピードを上げます。

6kmパワーアシストウォーク機能

(一)ボタンを二秒間以上押すと、電動バイクはパワーアシストウォークになります。時速6キロメートルで走り、ランク表示はキロメートル数/時間数の小数点つきの数値になります。とき放すと、直ちに電動アシストモードが停止します。



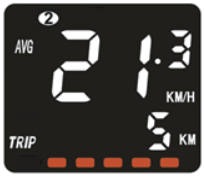
ご注意

パワーアシストウォーク機能は急な登り坂道など、電動バイクを推し進める時のみ、使用できます。平坦地など推し進めて使用すると普通歩くスピードより早くなるため、絶対しないでください。乗った状態での使用も不可です。

スイッチングの表示

ディスプレイは通常現在スピードSPDと総マイレージODOが表示されますが、電源ボタン(M)を押すと、平均スピードAVGとシングルマイレージTRIPの表示に切り替えます。





バッテリー残量表示

バッテリー残量表示はLED段数に示されます。バッテリー残量が満タンのときは、5段のLEDは全部光ります。点滅する時は、バッテリーが残量不足になり、充電を要します。





エラー表示

システム故障の際、右上にEが表示されます。本来スピードを表す場所は、エラーコードになります。



故障のままの状態では、電動バイクは走ることができないため、販売店までご連絡ください。

バイクの乗り方

電源のいれ方

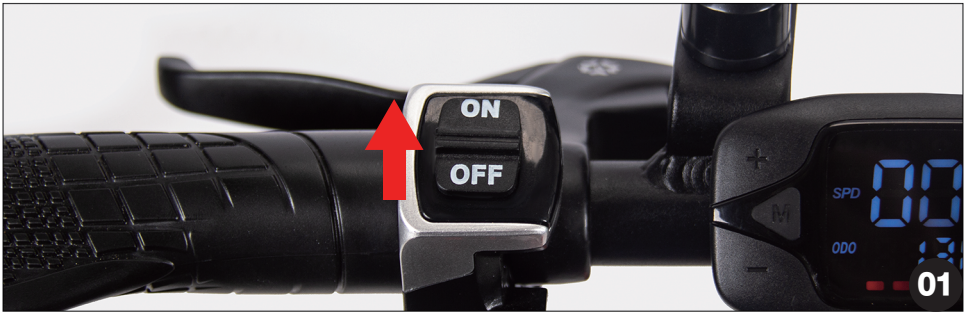


電源メインスイッチを「ON」側にしてから「M」キーを長押し



電源が入ります

ヘッドライトの付け方



[ON] でヘッドライトを点灯し、「OFF」で消灯します。

※ご注意：「OFF」は消灯するとともに、液晶ディスプレイの電源も切ることににになります。
そのため、「OFF」消灯する前に、必ず液晶ディスプレイの電源を切ってください。
切らずに「OFF」消灯する場合、TRIP（シングルマイレージ）はODO（総距離）に反映されません。

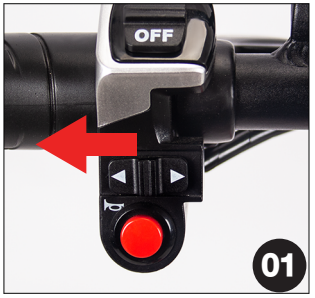


ヘッドライト点灯



ヘッドライト上下方向を手動調整可能です。

ウインカー・ブレーキランプの付け方



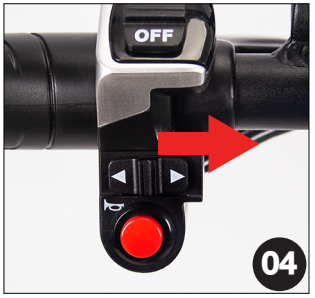
左へ押すと



左前ウィンカー点灯



左後ろウィンカー点灯



右へ押すと



右前ウィンカー点灯



右後ろウィンカー点灯



ブレーキを押すと



ブレーキランプ点灯

ハイブリッド・電動バイク・自転車モードの走行

ハイブリッドモードの走行



電動バイクモードキーはスイッチOFFのままにします。

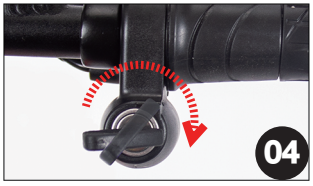


電源を入れます



ペダルを漕ぐとハイブリッドモード走行します。

電動バイクモードの走行



電動バイクモードキーはスイッチONにします。



電源を入れます



スロットルを回すと、電動モード走行します。

※電動モードでもペダルを漕ぐと、ハイブリッドモード走行できます。

自転車モードの走行



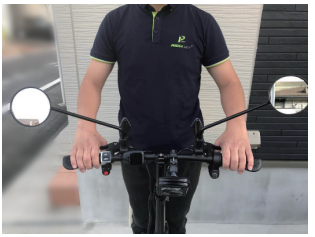
電源OFFのままにします。
※電源入れないときは、電動バイクモードスイッチは動作しません



普通の自転車のように走行します。
※自転車モードでも原付扱いのため、法律に従って走行してください。

TOP619日常点検チェックシート

バイクは、ご使用に伴い、各部が痛んだりネジがゆるんだりしてきます。これらを放置して使用を続けると大変危険です。安全にご使用頂くために、乗車前に必ず点検をお願いします。



①前輪を足で固定してハンドルを動かした時に、力を入れてもハンドルが回ったり、抜けたりしないことを確認する。



②スロットルを回した時に、スムーズに戻るかを確認する。
※必ず電源を切った状態で行うこと。



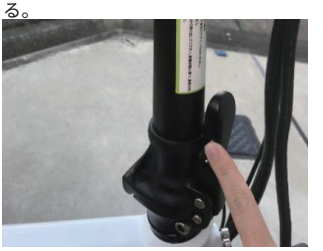
③左右のブレーキレバーを強く握った時に、グリップとレバーの隙間が 1/2 ～ 1/3 になるまでに、ブレーキがロックすることを確認する。



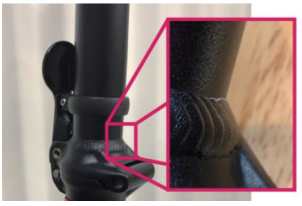
④ハンドルポストは、限界標識(MAX)が隠れるまで差し込まれているか確認する。



⑤ハンドルポストの高さ調整レバーは確実に固定されていることを確認する。



⑥ハンドルポストのセーフティロック(黒いプラスティックのロック)はロックできるかを確認する。



⑦ハンドルポスト接合部分の溶接にひび割れがないかを確認する。



⑧サドルポストは、限界標識(MAX)が隠れるまで差し込まれているかを確認する。



⑨サドルポストの高さ調整レバーは確実に固定されていることを確認する。



⑩ サドルの前後を持って、上下・左右に動かす。力を入れても回ったり、抜けたりしないことを確認する。



⑪ チェーンは油が注してあり、ペダルを手で後ろに回すと滑らかに動くことを確認する。



⑫ ペダルの上下左右方向から力を加えた時、ガタつきがないことを確認する。



⑬ 車体折りたたみ部のフレームレバーのセーフティロック（黒いプラスティックのロック）はロックできるか確認する。



⑭ 前後のブレーキのワイヤーに、サビや切れがないか確認する。



⑮ タイヤに十分空気が入っていて、空気圧はタイヤに記載した気圧範囲内になっていることを確認する。



⑯ タイヤに布目が見えるような深いキズがないこと、接地面の模様が十分残っていることを確認する（残溝 1mm 以上）。



⑰ 前後輪ロックネジは緩みはないかを確認する。緩みはありましたら直ちに固定すること。



⑱ ナンバープレートはフェンダーと接触しないように両サイドの固定用ネジをしっかり調整・固定されるかを確認する。※ナンバープレートとフェンダーの接触はフェーダーを傷つけ、走行中接触音・フェーダー錆の原因になります。



⑲ 電源入った状態で電動バイクを押し歩く際、クランクは車輪回りのペースで回ることはないかを確認する。
車輪回りのペースで回ることはありましたら、電動バイクの仕様によりアシストセンサーは動作するので、車両はスピードを出すことになり、極めて危険です。チェン・クランク回りの点検は直ちに行ってください。
また電動バイクを押し歩く際、電源を切ること（必ず行うことにしてください）や、クランクは無意識に回さないことや、スロットルを無意識に回さないことをご留意ください。

製品仕様

フレーム材質	6061アルミニューム
展開サイズ	全長約1300mm/横（ハンドル部）約450mm/高さ(ハンドル部)約880~1000mm、高さ(サドル)780~930mm
折り畳サイズ	全長約770mm/横約320mm/高さ約610mm
バッテリー	36V/10.2Ah　リチウムイオン電池
充電時間	約４-５時間
車両重量	18.2kg
バッテリー装着重量	20.0kg
タイヤサイズ	14*2.125インチ （KENDA電動バイク専用タイヤ）
電動走行距離	約25～40km※気温・道路状況・負荷重量・ 走行速度により変化
定格出力	0.25kw
最高速度	約30km/h

各部のなまえ





車体番号刻印場所

標識番号（ナンバー）取得には車体番号が必要のため、お手続きなさる前に、販売証明書に車体番号のご記入を宜しくお願い致します。

各部のなまえ



付属品

●ネジ固定用簡易工具　●電動バイクモードスイッチキー（2本）　●バッテリーロック専用キー(2本)
●液晶ディスプレイユニット　●充電 器　●取扱説明書　●バックミラー　●バックミラー取り付け工具

※スペアキーはございませんので、大事に保管してください。



組み立てのしかた

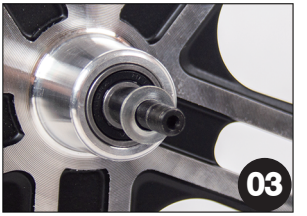
前車輪の取付



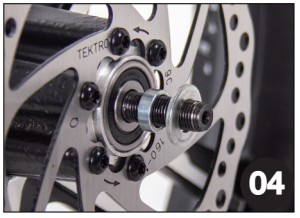
取付に必要な部品(前車輪、前車輪の中軸、取付工具)を用意します。



中軸に付属しているナットなどの部品を全部取り外します。その後、軸の細い方を前車輪のディスクブレーキ反対側から差し込みます。



図示する部品を一枚つけます。



ディスクブレーキ側に図示する部品を取り付けます。





前フォークを中軸に嵌めます。
※ディスクブレーキ側、その反対側の方向性を注意して嵌める必要があります。



図示する部品をさらに一枚取り付けます。



ナットをしっかりと中軸に取り付けます。



反対側にも図示する部品を一枚取り付けます。



反対側の中軸にナットをしっかりと取り付けます。

ハンドル部の取り付け







- ポストを直します。



- クイックレバーでポストを固定します。



- ハンドル固定ユニットを外します。

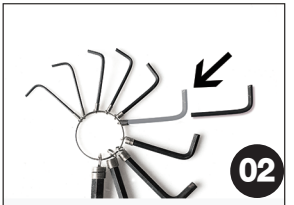


- ハンドル固定ユニットでハンドルを固定します。
固定後、クリックレバーでしっかり固定します。

液晶ディスプレイの取付



クリップ部分のねじをはずします。



図示する工具をホルダーから外します。
(5番目に大きいほうです)



ディスプレイの固定用のクリップをハンドルにつけます。
少し力要ります。



手でねじをセットします。



ナットを図示する位置にセットします。

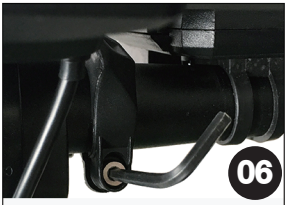
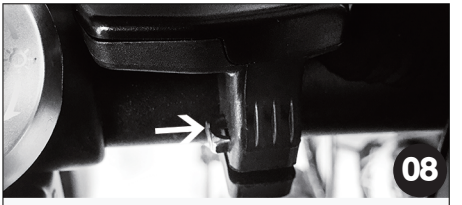


図2で外した工具でナットを回し、固定させます。



操作ユニットをハンドルにセットします。



底部の横にある穴にナットを入れます。



図２で外した工具で回し、固定させます。



図示するようにコードを接続します。

ヘッドライト・フェンダーの取付





- 図示すようにヘッドライトをフォーク上部にセットします。
  ヘッドライトとネジの間にワッシャー１個入れます。





- ワッシャーをネジに2個セットします。

- フェンダーをセットしてからワッシャー1個入れます。
  ヘッドライトとフェンダーの方向性を注意しながら、
  ナットでしっかり固定します。

サドルの取り付け



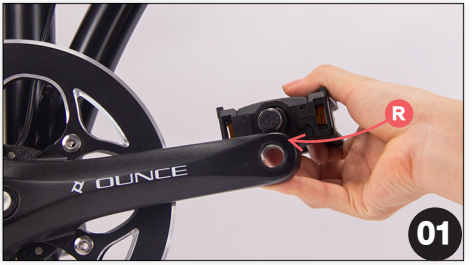


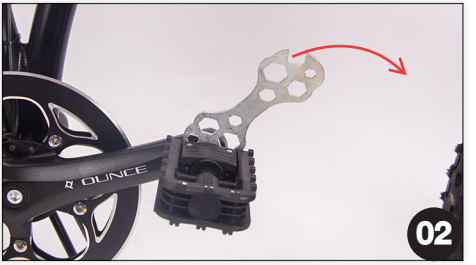
クイックレバーを緩め、ポストの高さを調整します。調整後、クイックレバーでしっかり固定します。

ペダルの取り付け

ペダルのねじ部先端にR/ L 印字があります。 R： 右側用、L:左側用

右側用ペダル固定

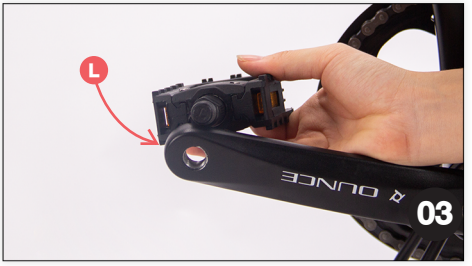


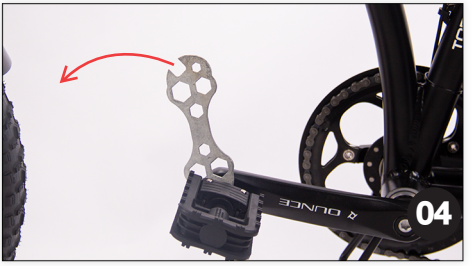


- 手で回転軸を時計回りで回しながら少し差込孔に入れます。
- 工具を使ってしっかり固定します。

※無理やり最初から工具で取り付けると、ねじ孔のねじ模様を壊す場合がありますので、手で少し固定できてから工具を使ってください。

左側用ペダル固定





- 右側と同様の操作となりますが、回り方向は時計反対回りとなります。

充電のしかた(1)

本体に電源を差し込むだけで充電します。差し込む場所は折りたたみクイックレバ ー の反対側にあります。





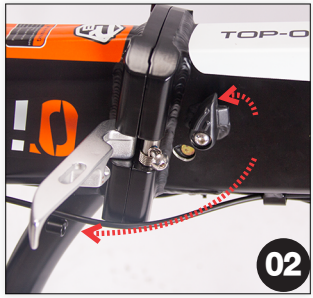
充電器のランプは、充電中に赤く表示され、充電完了時は緑になります。

充電のしかた(2)

バッテリーを本体から取り外し、好きな場所で充電します。



バッテリーロックの差込口を確認します。



クイックレバーロックを外してから、レバーを開きます。

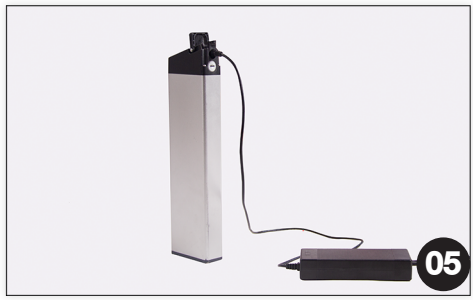


車体をたたんでから、バッテリーロック専用キーでバッテリーロックを開錠します。

※車体充電口の下側フレームにキー差込口があります。
配線が通るから、必ず充電口側からキーを差し込んでください。



バッテリーロック専用キーを外してから、バッテリーを取り外します。

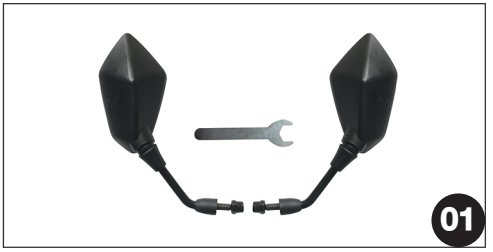


好きな場所で充電します。

※バッテリーを取り外す時、バッテリー本体を反対側端子に接触させないこと、ショットする可能性があります。
※充電完了後、上記と反対手順でバッテリーを取り付けます。

⚠ 注意 充電が完了したら、充電アダプタ/電源コードを外してください。

バックミラーの取り付け



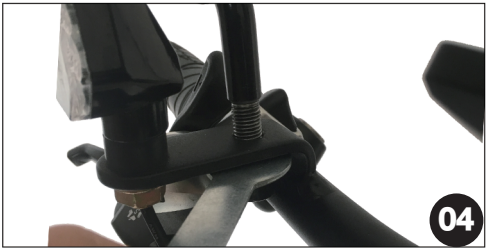
図示する工具で取り付けます。



図示するように、バックミラーを取り付け穴にセットします。



取り付け穴の下からナットをセットします。



工具でナットを固定します。



時計回りにバックミラーを回し、ねじを締めます。

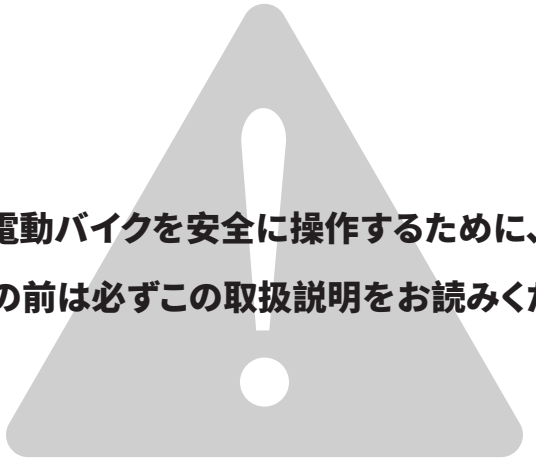


工具でバックミラーの角度を調整します。

液晶マルチファンクションディスプレイ

取扱説明



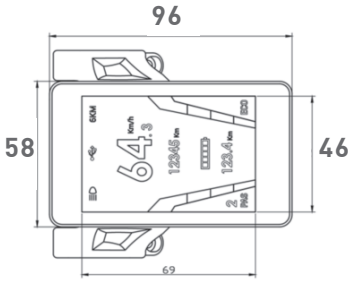


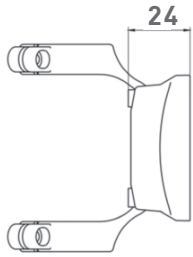
電動バイクを安全に操作するために、

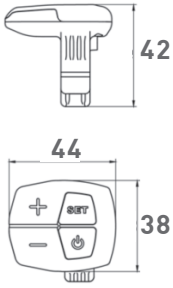
ご使用の前は必ずこの取扱説明をお読みください。

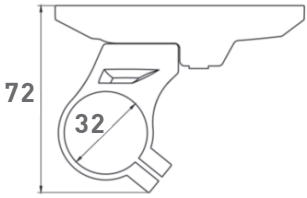
外観と寸法

※寸法(mm)

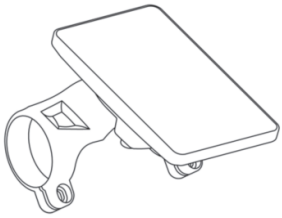


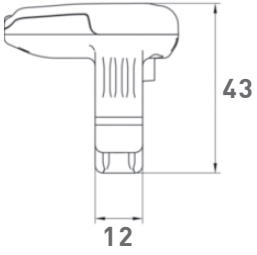


















操作ユニットボタンの説明

TOP016 液晶ディスプレイの操作ユニットには、四つのボタンがありす。



それぞれ、⏻、SET、＋ 、ー になります。

⏻

電源をオンとオフに
するボタンです。

SET

各種パラメーターを設定 する
ボタンです。

＋

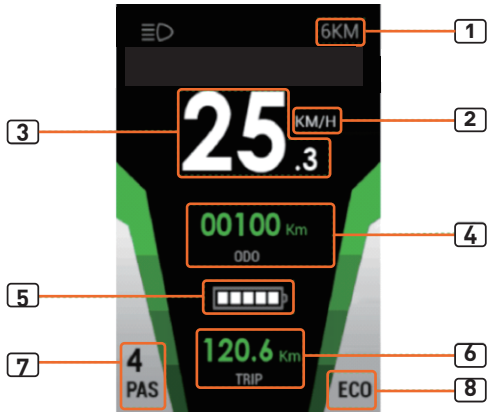
パワーランク（0 ～ 5）を上げ
るボタンです。

ー

パワーランク（0 ～ 5）を下げ
るボタンです。

ディスプレイ表示のご説明

表示内容は以下の通りです。



1 ウォーク機能

—を 2 秒長押しすると、電動バイクはパワーアシストウォークモードに入り、時速 6 キロで走行します。

ご注意 パワーアシストウォーク機能は急な登り坂道など、電動バイクを推し進める時のみ、使用できます。
平坦地など推し進めて使用すると普通歩くスピードより早くなるため、絶対しないでください。
乗った状態での使用も不可です。

2 速度単位の表示:

速度を KM/H で表示します。

3 スピード表示:

電動バイクの現在のスピードを表示します。

4 ODO 表示

総マイレージが表示されます。

5 バッテリー残量表示

バッテリー残量は 5 段で表示されます。それぞれ２０%残量を表します。

6 Trip 表示

シングルマイレージを表示します。

7 パワーランク表示

“+” または “—” でパワーランクを切り替えることができる。ランクは 0 ～ 5 まであります。起動した際は、ランク 1 が自動的に選定されています。

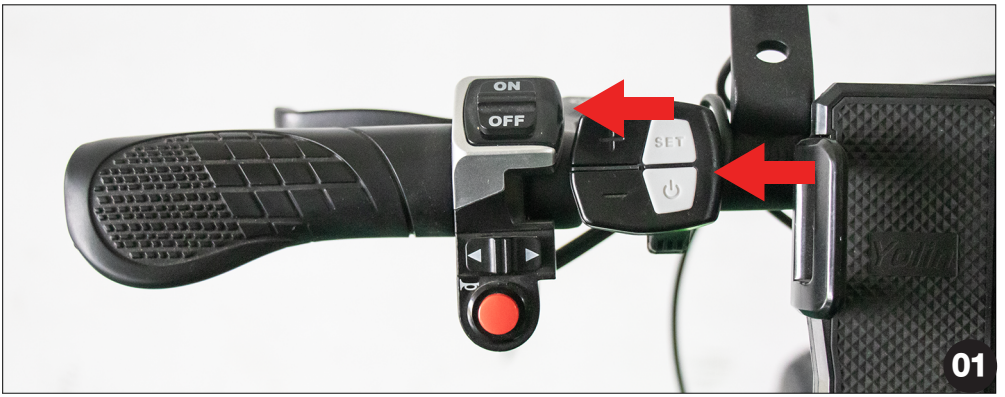
8 走行モード表示

走行モードの表示は POWER、STD、ECO あります。“SET” ボタンで、切り替えることができます。

※ディスプレイ表示仕様であり、当車両ではパワー調整に区別ありません。

バイクの乗り方

電源のいれ方



まず「ON」で電源をいれます。その後、液晶ディスプレイの電源を入れます。



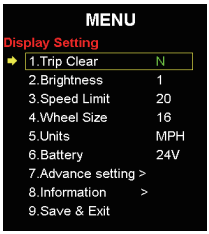
電源入ります

各種パラメーター詳細設定のご説明

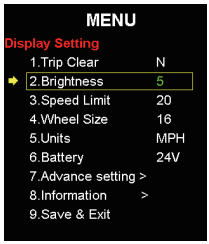
1 パラメーター設定画面の入り方

①SET ボタンを 2 秒長押し(設定画面に入ります)→ ②+ または - ボタンを押し(黄色い矢印を設定したい項目に当てます)→③再び SET ボタンを押し(数値の部分が緑になります)→④この状態で、+ または - ボタンを押し(設定値を変更することができます)→⑤その後、再度 SET ボタンを押し(設定されたデータが保存されます)→⑥設定完了後、黄色い矢印を「９.Save&Exit」に移動して、SET ボタンを押し(パラメーター設定画面から通常利用画面に戻ります)

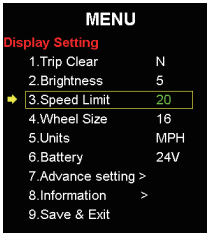
2 各種パラメーターのご説明



1: シングルマイル数をゼロクリア(Y はクリア ,N はクリアしない)する。



2: スクリーンの明るさを設定する。1 は最も暗く、5 は最も明るい。

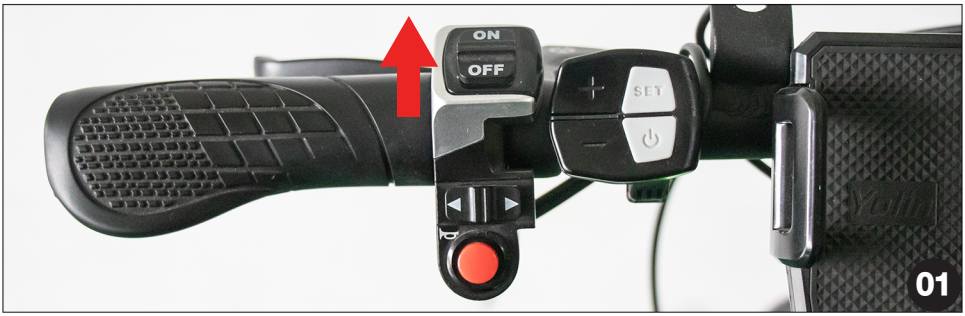


3: スピードリミットの設定をする。設定できる範囲は：20~99km/h。TOP016 性能上の最高スピードは約 40km/h 強であり、スピードリミットはそれ以下設定される場合、最高スピードは設定値になります。それ以上設定される場合、性能上の最高スピードを超えることがありません。

注意

項目１から３までは、必要により、設定変更することができますが、SET４からの項目は出荷時メーカーより設定済であり、ご利用者様による変更はお勧めいたしません(車両性能に影響を及ぼす可能性があります)。よって SET４からの項目説明は省略とします。

ヘッドライトの付け方



「ON」でヘッドライトを点灯し、「OFF」で消灯します。

※ご注意：「OFF」は消灯するとともに、液晶ディスプレイの電源も切ることににになります。
そのため、「OFF」消灯する前に、必ず液晶ディスプレイの電源を切ってください
切らずに「OFF」消灯する場合、TRIP（シングルマイレージ）はODO（総距離）に反映されません。

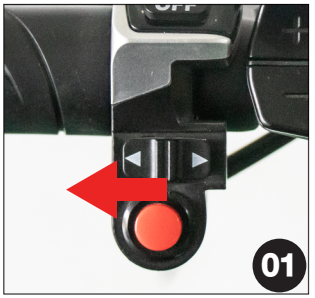


ヘッドライト点灯



ヘッドライト上下方向を手動調整可能です。

ウインカー・ブレーキランプの付け方



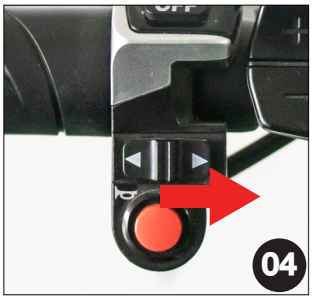
左へ押すと



左前ウィンカー点灯



左後ろウィンカー点灯



右へ押すと



右前ウィンカー点灯



右後ろウィンカー点灯



ブレーキを押すと



ブレーキランプ点灯

フロントフォーク右側ABS印字側スイッチ(フロントサスペンション)使い方

※バイク乗る前に道路状況により設定しましょう。



アンロック:サスペンションを機能させます。
オフロードや段差が多い場所でお勧めします、
乗り心地を良くします。



ロック:サスペンションを機能させません。普通の
平坦な道では特にサスペンションが必要ではあ
りません。



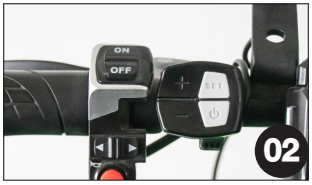
左PREROAD印字側スイッチ:デザイン模様で特になにも機能しません。

ハイブリッド・電動バイク・自転車モードの走行

ハイブリッドモードの走行



電動バイクモードキーはスイッチOFFのままにします。

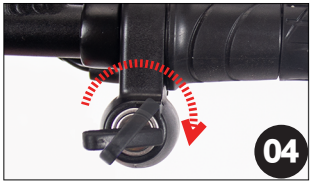


電源を入れます。



ペダルを漕ぐとハイブリッドモード走行します。

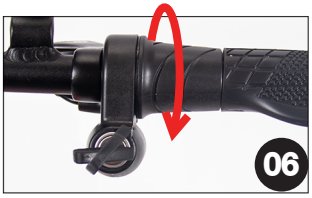
電動バイクモードの走行



電動バイクモードキーはスイッチONにします。



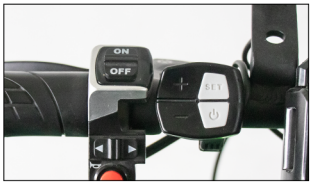
電源を入れます。



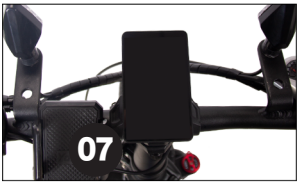
スロットルを回すと、電動モード走行します。

※電動モードでもペダルを漕ぐと、ハイブリッドモード走行できます。

自転車モードの走行



電源OFFのままにします。
※電源入れないときは、電動バイクモードスイッチは動作しません





普通の自転車のように走行します。
※自転車モードでも原付扱いのため、法律に従って走行してください。

※パワーランクは0の場合、バイクは自転車モードにもなります。

TOP016日常点検チェックシート

バイクは、ご使用に伴い、各部が痛んだりネジがゆるんだりしてきます。これらを放置して使用を続けると大変危険です。安全にご使用頂くために、乗車前に必ず点検をお願いします。



① 前輪を足で固定してハンドルを動かした時に、力を入れてもハンドルが回ったり、抜けたりしないことを確認する。



② スロットルを回した時に、スムーズに戻るかを確認する。
※必ず電源を切った状態で行うこと



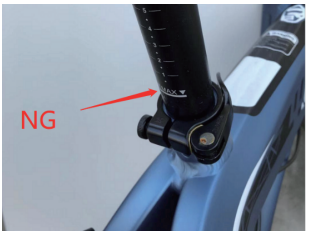
③ 左右のブレーキレバーを強く握った時に、グリップとレバーの隙間が 1/2 ～ 1/3 になるまでに、ブレーキがロックすることを確認する。



④ ハンドルポストのセーフティロック（黒いプラスティックのロック）はロックできるかを確認する。



⑤ 正しいのは次のようです。



⑥ サドルポストは、限界標識（MAX）が隠れるまで差し込まれているかを確認する。



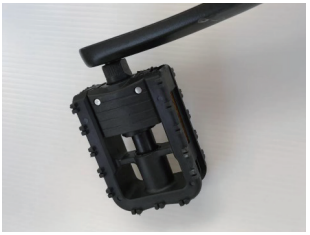
⑦ サドルポストの高さ調整レバーは確実に固定されていることを確認する。



⑧ サドルの前後を持って、上下・左右に動かす。力を入れても回ったり、抜けたりしないことを確認する。



⑨ チェーンは油が注してあり、ペダルを手で後ろに回すと滑らかに動くことを確認する。



⑩ ペダルの上下左右方向から力を加えた時、ガタつきがないことを確認する。



⑪ 車体折りたたみ部のフレームレバーのセーフティロック（黒いプラスティックのロック）はロックできるか確認する。



⑫ 前後のブレーキのワイヤーに、サビや切れがないかを確認する。



⑬ タイヤに十分空気が入って いて、空気圧はタイヤに記載した気圧範囲内になっていることを確認する。



⑭ タイヤに布目が見えるような深いキズがないこと、接地面の模様が十分残っていることを確認する（残溝 1mm 以上）。



⑮ ナンバープレートはフェンダーと接触しないように両サイドの固定用ネジをしっかり調整・固定されるかを確認する。※ナンバープレートとフェンダーの接触はフェーダーを傷つけ、走行中接触音・フェーダー錆の原因になります。



⑯ 前後輪ロックネジは緩みはないかを確認する。緩みはありましたら直ちに固定すること。



⑰ 電源入った状態で電動バイクを押し歩く際、クランクは車輪回りのペースで回ることはないかを確認する。
車輪回りのペースで回ることはありましたら、電動バイクの仕様によりアシストセンサーは動作するので、車両はスピードを出すことになり、極めて危険です。チェン・クランク回りの点検は直ちに行ってください。
また電動バイクを押し歩く際、電源を切ること（必ず行うことにしてください）や、クランクは無意識に回さないことや、スロットルを無意識に回さないことをご留意ください。

製品仕様

フレーム材質	6061アルミニューム
展開サイズ	全長約1720mm/横（ハンドル部）約670 mm/高さ(ハンドル部)約1050mm、高さ(サドル部) 850~980mm
折り畳サイズ	全長約1020mm/横約500mm/高さ約770mm
バッテリー	48V/9.6Ah　リチウムイオン電池
充電時間	約４-５時間
車両重量	26.2kg
バッテリー装着重量	28.5kg
タイヤサイズ	20＊4.0インチ
電動走行距離	約18～35km※気温・道路状況・負荷重量・ 走行速度により変化
定格出力	0.50Kw
最高速度	約40km/h ※公道には法定最高速度30km/hを守る必要があります

保管と手入れ

保管場所

電動バイクは次のような場所に保管してください。また、保管の際はカバーをかけてください。

●平らで安定しているところ

●風通しが良く、湿気のないところ

●雨つゆや直射日光の当たらないところ

長期保管をするときは

電動バイクを一ヶ月以上使用しないで保管するときは、次のことを 行ってください。

●バッテリーを満充電にしてから保管する

●バッテリーを電動バイク本体から取り外して適した場所で保管する

●保管に適した温度（-20〜 20°C を推奨)で保管する

●3ヶ月に1回は充電する。

長期保管した後に使用するときは

長期保管した後に再び 電動バイクを使用するときは、次のことを行ってください。

●バッテリー残量がない場合には、充電してから使用する

●6ヶ月を越えたら点検整備を受ける

点検・整備項目

⚠ 強制 以下の点検項目を参考にして、定期的に点検を行ってください。

⚠ 注意 異常を感じた場合は定期点検と関係なく、点検を受けてください。

点検項目		点検期間						
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
		2ヶ月	6ヶ月	1年	1年半	2年	2年半	3年
1	アシスト機能は正常に作動するか異音がしないか							
2	モーターからグリス漏れがないか							
3	電気配線の接続部にゆるみ損い傷かがないか							
4	コードの断線がないか、フレームへの取付は適切か							
5	バッテリーの取付け状態は確実か							
6	表示ランプは点灯するか							
7	バッテリーの消耗が早くなっていないか							

故障かな?と思つたら

こんなときは	こ確認くださ さい	対処方法
電源が入らない	充電されていますか?	バッテリーを充電してください
電源は入るが、モーターが動かない(操作スイッチは表示されて、バッテリーの残量も十分であることが表示されている)	ブレーキをかけていませんか?	発進時はブレーキをかけないでください。ブレーキレバーがしっかりと戻っていることを確認してください。
バッテリーが満充電状態ではないのに充電ができない	バッテリーと充電アダプターが正しくセットされていますか?	発進時はブレーキをかけないでください。ブレーキレパーがししっかりと戻つていることを確認してください。
	バッテリーが完全放電していませんか	バッテリーから充電接続コネクターを、充電アダプターから電源コードを一旦抜いて、もう一度各コネクター/コードを接続しなおしてください

こんなときは	ご確認くださいい	対処方法
走行距離が短い	充電されていますか?	バッテリーを充電してください
	バッテリーを長期間使用せずに放置していませんでしたか?	充電が完了したバッテリーでも長期間使用しなかった場合には自然に放電してしまうため、残量がなくなっていることがあります
	坂道の連続走行や、悪路などの過酷な走行をしませんでしたか?	道路条件や変速位置等により走行距離が短くなります
	気温は低くないですか?	冬季や寒冷地においてはパッテリーが冷えているため、バッテリーの特性上、容量が低下したり、走行距離が短くなります
	気温は高くないですか?	高温で放置した場合は、バッテリーの残量が減少することがあります
	使い込んだバッテリーを使用していませんか?	バッテリーの寿命と思われます。新しいバッテリーをご購入頂き、交換してください。

製品保証

本保証書に記載の内容に従い、お買い上げの電動バイクを保証いたします。

【保証規定】

1.本規定は、出荷後の保証を当社が定めたものです。
2.本規定は、日本国内での使用のみに適用されます。日本の道路運送車両法に基づき製造、販売しております。日本国外への持ち運び、使用は一切できません。
3.各部品の不良等は保証期間に基づき対応致します。

【保証期間】

保証を受ける際、ご購入の日から１年になります。走行距離が3,000kmを超えた際は期間に関係無く保証の対象外となります。
※部品によって保証期間が異なります。
※タイヤ、チューブ、バルブ、ペダル、ブレーキ等の消耗品は保証の対象外となります。
※取り付け工具等のサービス品は保証の対象外となります。
※分解、改造は保証の対象外となります。

【保証対象部品】

本体/バッテリー（60%以下に低下しないこと）/モーター / ハンドル / ナンバー灯/ アダプター/液晶ディスプレイ
※正しい使用法にて、使用し不良が発生した場合のみ保証させて頂きます。

【保証範囲】

本製品が保証期間内に正常な使用状態で故障した場合に保証規定によりの１年間の修理または交換対応をいたします。ただし商品発送の際に掛かる費用に関しては負担致しかねます
保証対象外となる項目は以下のような場合になります。
1.製品保証書が無い場合、もしくは中古車販売、個人売買により製品を所有した場合
2.取り扱い上での輸送中の落下、取り扱いが不適当なために生じた故障並びに損害の場合
3.他製品を接続したことによる故障、動作保証を行っていない機器やケーブルを接続したことによる故障の場合
4.不適当な使用環境、保管状況によって起こる故障、消耗品の交換。
5. 砂地、砂利道等の舗装のされていない道路を長期間走行したことによって発生した部品の不良、故障、部品の損傷。
6.経年劣化によって発生する不具合（塗装面の剥がれ、メッキ部のサビ、その他）
7.走行上問題の無い、使用環境、使用状態、保管状態によって左右される現象（音、振動、バッテリー充電容量の低下）
8.製品の分解、修理、改造によって発生した故障や損傷など
9.地震、噴火、津波などの天災や、戦争などの紛争による損害

【次に示す費用は負担致しかねます】

1. 修理に対する保証対象部品の修理にかかった工賃
2. 法定に定められた継続検査に伴う点検整備の費用
3. 本製品が使用できないことによって発生した損失、費用
4. 本保証書に示す以外の費用、保障など

【お客様に守って頂きたい事項、免責事項】

1. 製品を正常に使用していただくためには、必ず製品の日常点検を行って頂く必要があります。
   点検を怠った事が起因として発生した故障、修理に関しては保証対象外となりますので必ず実施して下さい。
2. 法令で準じられた点検、整備は必ず実施して下さい。お客様にて点検ができない場合、
   お近のバイク取り扱い店、販売代理店または当社へご相談下さい。

3. 製品寿命、経年劣化、過度な連続稼動による製品の故障、外観の変色、モニターの画面の焼付き（画面ムラ）は保証対象外となります。

【修理について】

1. 出張修理は行っておりません。
   保証対象となった場合でも商品発送に掛かる費用は負担致しかねます。
2. 当社にて修理を行い、費用が発生した場合、当社へ修理代金のお支払を頂いたことを確認してからの返送になります。

製品のカラー、仕様、価格は都合により予告なく変更される場合があります。
製品のカラーは、実際のカラーと若干異なる場合があります。
製品のデータ、写真等の無断転用はお断りいたします。

【保証書】

お客様	ご住所			
	フリカナ			
	ご氏名			
お買上げ車	お買上げ日		ブランド名	
	車種名		カラー	
	サイズ		車体番号	

メーカー

RICH BIT®

SHENZHEN XINHUANAN BICYCLE INDUSTRY CO.,LTD

Tel : 0755-81736468 | Fax : 0755-81736451 | Email: info@richbitebike.com

Address:
1-336,xiangshang Rd, 3th Luotian Industry Zone, Songgang Town, Bao'an Dist, Shenzhen, China

日本代表代理店

Acalie
Make and Spread More Enjoyment

株式会社Acalie

https://ali-jp.com

〒463-0088 愛知県名古屋市守山区鳥神町１８９番地
Tel:052-750-0362 Fax:052-308-6589 Email:service@ali-jp.com

RICH BIT®

https://richbitebike.com

SHENZHEN XINHUANAN BICYCLE INDUSTRY CO.,LTD

Tel :	Fax :	Email:
0755-81736468	0755-81736451	info@richbitebike.com

Address:

〒463-0088 愛知県名古屋市守山区鳥神町１８９番地